

【一】 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

奈良・斑鳩いかるがの法隆寺は、世界で唯一の木造建築物として知られています。

コンクリートの建物でも百年もたないというのに、^①木で造られた建物が千四百年を経ても朽ちることなく、変わらぬ姿を今にとどめているですから、驚きです。

②千年の木は、柱になってもさらに千年、生きると言われています。本当に生きているのでしょうか。

木というのは不思議な存在です。冷たく^③な幹はまるで生命が感じられませんし、葉を落として枯れ木のように立つ冬の姿は、生きているのか死んでいるのかさえわかりません。それでも、何千年という時を生きる長生きな生き物でもあります。

「生きている」と表現される木の柱は、生き物としては生きているわけではありません。柱は成長したり、生命活動を行っているわけではないです。

柱が生きていると言われるのは、柱になったあとでも戻ったり、あたかも呼吸しているかのように空気中の水分を吸収したり排出したりしているためです。もともと、それは死んだ細胞が水分を吸収したり発散させたりしているだけのことなのです。

木材の中心には、赤みがかかっていたり、黒っぽかったり、色が濃くなっている部分があります。これが心材と呼ばれる部分です。心材は硬くて腐りにくいので柱として適していると言われています。

【一】

心材は、木が生き延びるために考え出したものです。シロアリやカミキリムシなどは木に穴をあけて食べようと狙っています。A、きのこも木の中に菌糸を張り巡らせて木材を分解してしまおうと狙っています。そのため、外敵から身を守るために、抗菌物質を木材の中央に溜めていくのです。さらにこの抗菌物質には木材を硬くする働きもあり、物理的に身を守っています。また、抗菌物質を注入することによって、水分や栄養分を通しての導管や師管などをふさいで、水が染み込んで内側から腐るのを防ぐ効果もあります。よく、ミナトなどで木材が水に浮かべられているようすを見かけますが、木材に水が染み込まないのもそのためです。

【二】

この心材を使うことによって、法隆寺の柱は千年以上も腐ることなく、建物を支え続けることができます。しかし、^④植物は、どうして木全体ではなく、心材だけを防御するのでしょうか。

木は、リグニンという分解されにくい物質が細胞を接着しています。植物のやわらかい茎は、このリグニンによって硬くなり、木となるのです。

【三】

リグニンは、「木材」を意味するラテン語から名付けられた物質です。

木材はリグニンによって固められているため、細胞が死んでもそのままの形をします。じつは木の心材の部分の細胞はすでに死んでいるのです。そのため、導管や師管をふさいでも問題になりません。B、心材以外の部分は多くの細胞が死んでいるもの、生きている細胞を含んでいます。そのため、導管や師管をふさぐわけにはいかないのです。

【四】

木はこうして死んだ細胞で幹を支え、生きた細胞がその屍しかばねを乗り越えて成長するような仕組みになっています。C、生きている部分が一番外側の部分に露出しているのは無防備なので、硬い樹皮で幹を覆っています。クマなどの野生動物は木の皮を剥いで食べることがありますが、樹皮の内側は甘皮と呼ばれて、でんぷんやタンパク質を多く含んでいます。この甘皮の部分が生きている細胞の部分なのです。

中心部の心材は死んでいます。死んでしまった細胞が自ら抗菌物質を溜めたり、導管や師管をふさいだりすることはできません。木材をよく見ると年輪と直交方向に中心から外側へつながる放射組織が通っています。この放射組織が^⑤あたかも工事用の道路のような役割を果たし、生きている外側の部分から、抗菌物質を中心部に運んで心材を作り上げるのです。

木はこうして、生きている部分と死んでいる部分から作られています。木というのは、本当に不思議な生き物です。

(稲垣栄洋『面白くて眠れなくなる植物学』より)

問一 二重傍線部 a～d のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 傍線部①「木で造られた建物が千四百年を経ても朽ちることなく、変わらぬ姿を今にとどめている」とありますが、その理由を解答欄に続くかたちで、八十文字以内で説明しなさい。

問三 傍線部②「千年の木は、柱になってもさらに千年、生きると言われています」とありますが、ここでいう「生きる」とは、実際にはどういう状態のことですか。そのことを説明している箇所を本文中より三十文字以内で抜き出し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問四 空欄③に入る四字熟語を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 孤城落日 イ 無味乾燥 ウ 生者必滅 エ 傍若無人

問五 この本文には、次の段落が抜けています。この段落を入れるべき最も適切な箇所を【一】～【五】から選び、記号で答えなさい。

心材の周囲の外側の部分が、生きている細胞を含む部分です。そのため、周辺部から切り出される辺材と呼ばれる部分は、心材よりも色が薄くやわらかいのが特徴です。

問六 空欄A～Cに入れるのに最も適切なものを次のア～エの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。※同じ記号は使えないものとする。

ア したがって イ しかし ウ また エ ただし

問七 傍線部④「植物は、どうして木全体ではなく、心材だけを防御するのでしょうか」とありますが、植物が木全体を防御しない理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 心材には中心から外部へつながる放射組織を通じて抗菌物質が運ばれているから。

イ 心材で幹を支え、生きている細胞部分がほとんど成長していく仕組みだから。

ウ 死んだ細胞である心材は、リグニンによってそのままの形で固められるから。

エ 心材部以外の生きている細胞の導管や師管をふさいでしまうことになるから。

問八 傍線部⑤「あたかも工事用の道路のような役割を果たし」とありますが、この箇所が使われている表現技法を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 直喩 イ 隠喩 ウ 擬人法 エ 倒置法

【二】次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

中学生の「ぼく」(太二)が所属するテニス部では一年生で「グーパーじゃんけん一発勝負」をし、人数の少ない側になった人で昼休みにコート整備をするという習わしがあった。影で相談して誰か一人だけをはめるのは無しだと先輩から言われていたのに、ある日「武藤」の提案で「末永」一人をはめることになってしまった。「ぼく」は「武藤」の言いなりになったことを後悔し、みんなもお互いを疑うようになっていたので、なんとかグーパーじゃんけんを終わらせたいと悩んでいる。

浅井先生は、末永がいる一年一組のクラス担任だった。末永が、たぶん武藤が中心になって自分をハメたと思うと訴えて、先生は武藤に事実確認を求めたのだ。(一) (二)、昼休みにテニスコートに集まったところで、浅井先生から話があるだろう。たっぷり怒られるにちがいないが、それで

A ならかまわなかった。

四時間目の授業が終わり、ぼくはテニスコートに向かった。しかし、集まったのは一年生だけで、浅井先生の姿はなかった。ぼくは、ラクタンするのと同時に自分の甘さに腹が立った。

いつものように二十四人で輪をつくったが、①誰の顔も緊張で青ざめていた。末永にいたっては、歯をくいしばりすぎて、こめかみとあごがびくびく動いている。ヘアバンドが斜めになっているのも気づかないほどで、ぼくは今更ながら、末永に悪いことをしたと反省した。

(一) (二)、こんな状況で口を開き、きのうはハメて悪かったと末永にあやまつたら、どんな②テンカイになるかわからない。武藤をはじめとするみんなからは、よけいなことを言いやがってと恨まれて、末永だつて怒りのやり場に困るだろう。

(三) (四)、一番いいのは、このまま普通にグーパーじゃんけんをすることだった。うまく分かれてくれればいいが、偶然、グーパーがひとりになる可能性だつてある。ハメるつもりがないのに、末永がまたひとりになってしまったら、事態はこじれて收拾がつかなくなる。

みんなは青ざめた顔のまま、じゃんけんに移ろうとしていた。どうか、グーパーが均等に分かれてほしい。

こぶしを顔の横に持ってきたとき、ぼくの頭に父の姿が浮かんだ。一緒にテニススクールに通っていたころ、父は試合で会心のショットを決めると、応援しているぼくたちに向かってポーズをとった。ぼくや母も、同じポーズで父にこたえた。

「グーパー、じゃん」

掛け声に合わせて手を振りおろしたぼくはチョキを出していた。本当はVサインのつもりだったが、この状況ではどうしたつてチョキにしか見えない。ぼく以外はパーが十五人でグーパーが八人。末永はパーで、武藤と久保はグーパーを出していた。

ぼくが顔をあげると、向かいにいた久保と目が合った。

「③太二、わかったよ。おれもチョキにするわ」

久保はそう言つてグーパーからチョキにかえると、尖らせた口から息を吐いた。

「なあ、武藤。グーパーはもうやめよう」

久保に言われて、武藤はくちびるを隠すように口を結び、何度も小さく頷いた。そして、武藤は握っていたこぶしから人差し指と中指を伸ばすと、ぼくに向かつてその手を突き出した。

武藤からのVサインを受けて、ぼくは末永にVサインを送った。末永は自分の手のひらを見つめながらパーをチョキに変えて、輪の中に差し出した。

「明日からのコート整備をどうするかは、放課後の練習のあとで決めよう。時間もないし、今日はチョキがブラシをかけるよ」

そう言つて、ぼくが道具小屋に向かってかけだすと、何人かの足音がつづいた。ブラシを取ったところで振り返ると、久保と武藤と末永のあとにも四人がかけてきて、ぼくは八本あるブラシを一本ずつ手わたした。

コート整備をするあいだ、誰も口をきかなかつた。ぼくの横には久保がいて、ブラシとブラシが離れないように④ホハバを合わせて歩いていると、きのうからのわだかまりが消えていく気がした。

隣のコートでは武藤と末永が並び、百八十センチ近い長身の二人は大股でブラシを引いていく。コートの端までくると、内側の武藤がホババを狭くしてきれいな弧を描き、直線にもどれば二人ともがまた大股になってブラシを引いていく。

③きつと、ぼくたちはこれまででよりもずっと強くなるだろう。個人戦はもちろん、ダブルスでも、そしてチーム全体としても、とても強くなれるはずだ。

ぼくはいつか、テニス部のみんなに、父の豆腐を食べさせてやりたいと思った。つづいて、一中のコートで、家族四人でテニスをしたいと思い、押入れにしまつてある四本のラケットのことを考えた。ぼくはブラシを引きながら、胸の中で父と母と姉に向かって「サインを送った。」

(佐川光晴『大きくなる日』より)

問一 二重傍線部 a と e のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 空欄「」に入れるのに最も適切なものを次のア～オの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。※同じ記号は使えないものとする。

ア そして イ しかし ウ だから エ たとえば オ それなら

問三 A には「決着する」という意味の慣用句が入る。ひらがな五字で答えなさい。

問四 傍線部①「誰の顔も緊張で青ざめていた」とあるが、その理由として当てはまらないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア グーパーじゃんけんて人数の少ない方になり、コート整備を自分もすることになるのが嫌だから。

イ 末永が今回もグーパーじゃんけんて一人になり、事態の收拾がつかなくなることを恐れたから。

ウ 誰もが次は自分がグーパーじゃんけんて一人になるかもしれないと思っていたから。

エ 前回のようない自分が自分の知らないうちに行われているのではと互いに疑心暗鬼になっているから。

問五 傍線部②「太二、わかったよ。」とあるが、久保は何がわかったのか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 太二といっしょにコート整備を手伝うこと。

イ 太二が係の決め方を変えたいと思っっていること。

ウ 太二が本当はVサインを出そうとしたこと。

エ 太二と一緒に武藤の悪だくみを阻止すること。

問六 傍線部③「きつと、ぼくたちは強くなるだろう」とあるが、その理由を解答欄に合う形にして四十字以内で説明しなさい。

問七 本文の内容と合致するものには○を、間違っているものには×をつけなさい。

① 「ぼく」はコート整備係を決める今のやり方を終わらせることができるのは「久保」だけだと考えていた。

② 「武藤」も「末永」をハメたことを後悔しており、このやり方を終わらせることを受け入れた。

③ 「ぼく」はグーパーじゃんけんて「末永」が一人にならないようVサインで合図を送ろうとしていた。

④ 「ぼく」はグーパーじゃんけんて一人だけチョコキを出すことで、今の重い空気を払拭することができた。

⑤ 「ぼく」はコート整備をしながらか、コートと同じように一年生の状態がよくなっていくのを感じていた。

【三】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(後嵯峨院が) ^{※1} 亀山殿の御池に、大井川の水を ^{※2} まかせられんとて、大井の土民に おほせて、水車を造らせられけり。多くの銭を給ひて、数日にいとなみ出だして、かけたりにけるに、^A 大方めぐらざりければ、とかく直しけれども、終に まはらで、^① いたづらに立てりけり。さて、^{※3} 宇治の ^B 里人を召して、こしらへさせられければ、やすらかに ^② 結ひて参らせたりけるが、思ふやうにめぐりて、水を汲み入る事、めでたかりけり。 ^C よろづに、その道を知れる者は、やんごとなきものなり。

(『徒然草』より)

注 ※1 亀山殿 … 京都市右京区の嵯峨町にあった離宮。後嵯峨天皇が建てた。 ※2 まかせられんとて、… お引きになろうとして、

※3 宇治 … 京都市宇治市宇治川のあたりで、昔からの水車の名所。

問一 二重傍線部 a 「おほせて」 b 「まはらで」 c 「思ふやうに」の読みを、全てひらがなの現代仮名遣いで答えなさい。

問二 傍線部①「いたづらに立てりけり」②「結ひて参らせたりける」の主語を文中の語でそれぞれ答えなさい。

問三 傍線部 A 「大方めぐらざりければ」の口語訳を() に七字以内の言葉を入れて完成させなさい。

「少しも() ので」

問四 傍線部 B 「里人」と同じ意味の語を本文中より抜き出さなさい。

問五 傍線部 C 「よろづに、その道を知れる者は、やんごとなきものなり」について後の問いに答えなさい。

① 「その道を知れる者」とはこの話でいうと具体的にはだれに当たりますか。本文中より抜き出さなさい。

② この話で作者が感じたことを表したことをわざを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 木で鼻をくくる

イ 帯に短し、たすきに長し

ウ 餅は餅屋

エ 割れ鍋にとじ蓋 ^{ぶた}

問六 この文章の作者を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 清少納言 イ 鴨長明 ウ 紀貫之 エ 兼好法師

【四】次に書かれた頭痛薬の「使用上の注意」を読み、正しい使用をしているものを下のア～オの中から全て選び、記号で答えなさい。

使用上の注意

- 1・本薬を服用している間は、他の解熱剤、風邪薬、酔い止め薬を服用してはいけません。
- 2・13歳未満のお子様の服用は避けてください。
- 3・服用後、眠気を引き起こす可能性があります。車の運転などは控えましょう。
- 4・1か月を超える長期間の連続した服用はしてはいけません。
- 5・本薬の服用前後の飲酒は避けましょう。
- 6・一日三回を服用の限度とし、服用間隔は四時間以上空けるようにしてください。
- 7・保管は直射日光を避け、湿気の少ないところを心がけてください。
- 8・使用期限（外箱に記載）を過ぎたものは使用しないでください。
- 9・5、6回服用しても症状が改善されない場合はすぐに医師にご相談ください。
- 10・上記以外の使用方法でご質問などがあれば、弊社のお客センターにいつでもお問い合わせください。

ア 服用し始めた時が梅雨時期だったので湿気が気になり、除湿剤の入った箱に移し替え、もとの外箱は処分した。

イ 私は朝八時にこの薬を飲んだ後、急に電車で外出することになったので、念のためもう一回だけ服用し、頭痛に対して安心して外出ができるようにした。

ウ 一日三回、五時間は空くようにして本薬を服用したが、同じ服用方法を二日続けても治らないので、本薬を持って病院へ急いで行った。

エ 運転中に頭痛が起きると大きな事故につながるので、私は必ず運転前に本薬を飲み、頭痛への対策を万全にしている。

オ 頭痛持ちの友人が春からこの薬を服用すると頭痛が治まったので、それから毎朝一回だけの服用を続けて、先日一緒に海水浴にも行くことができた。

【五】次の各問いに答えなさい。

問一 ①～⑩の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- | | | |
|------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ① ピアノの バンソウ が聞こえてくる。 | ② 企業と テイケイ して技術を得る。 | ③ ギセイ となった人のことを考える。 |
| ④ この建物は シユウゼン 作業が必要だ。 | ⑤ ユウカン な騎士に憧れる。 | ⑥ 壁に シヨウトツ してケガをした。 |
| ⑦ 荒れた土地を カイコン する。 | ⑧ ザンジ お待ちください。 | ⑨ 昨日の コクメイ な記憶がない。 |
| ⑩ 来庁者の ゴハウメイ を伺う。 | | |

問二 次の①・②は類義語、③・④は対義語が完成するように□に入る漢字一字を答えなさい。

- | | | | |
|----------|----------|------------|------------|
| ① 架空 □ 構 | ② 殊勝 □ 心 | ③ □ 除 ⇩ 添加 | ④ 逮捕 ⇩ □ 放 |
|----------|----------|------------|------------|

問三 次の文はいくつの文節・単語からできていますか。それぞれ算用数字で答えなさい。

走っているうちに疲れてきた彼は、イギリス人だ。

問四 次の傍線部①～④の品詞名を答えなさい。

その①大きな荷物を運ぶ②ときは、③決して急が④ないことが大切だ。

問五 次の①～④の慣用句・故事成語の意味を後のア～カの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- | |
|----------|
| ① 朝三暮四 |
| ② 杞憂 |
| ③ 矛盾 |
| ④ 二階から目薬 |

- | | | |
|----------------------|------------------|---------------------|
| ア 二つのことが論理的に成り立たないこと | イ 幾度も丁寧におじぎをすること | ウ 突然のことに驚くこと |
| エ 遠回りで効果がないこと | オ 取りこし苦労のこと | カ 目先にとらわれ本質に気づかないこと |